

ドキュメンタリー

RX

氏名 _____

住所 _____ 年齢 _____
日付 _____

暴力

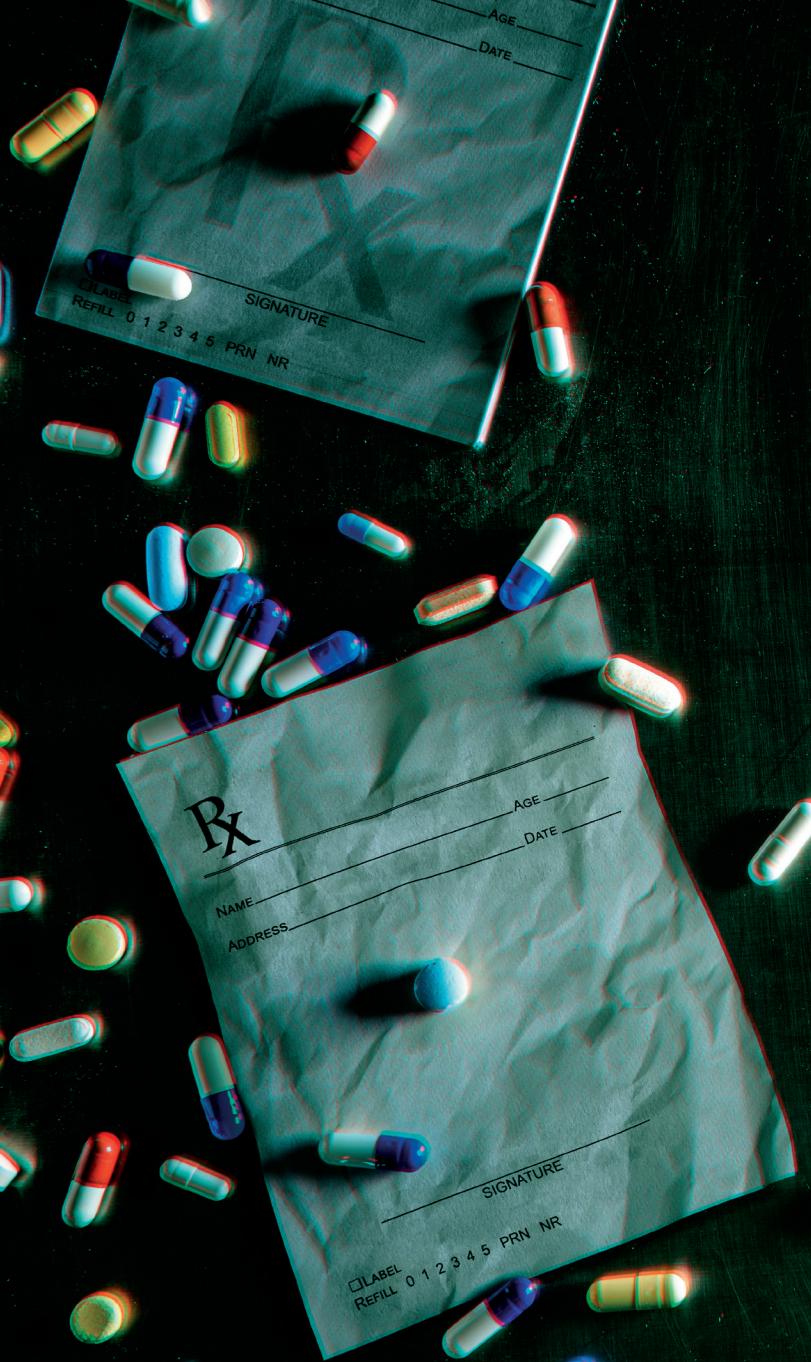
の処方箋



精神医学の致命的な副作用

LABEL

0 1 2 3 4 5 PRN NR



暴力

の処方箋
精神医学の致命的な副作用



提供:市民の人権擁護の会



暴力と向精神薬という点を
結び付けるのに
必要なものは？

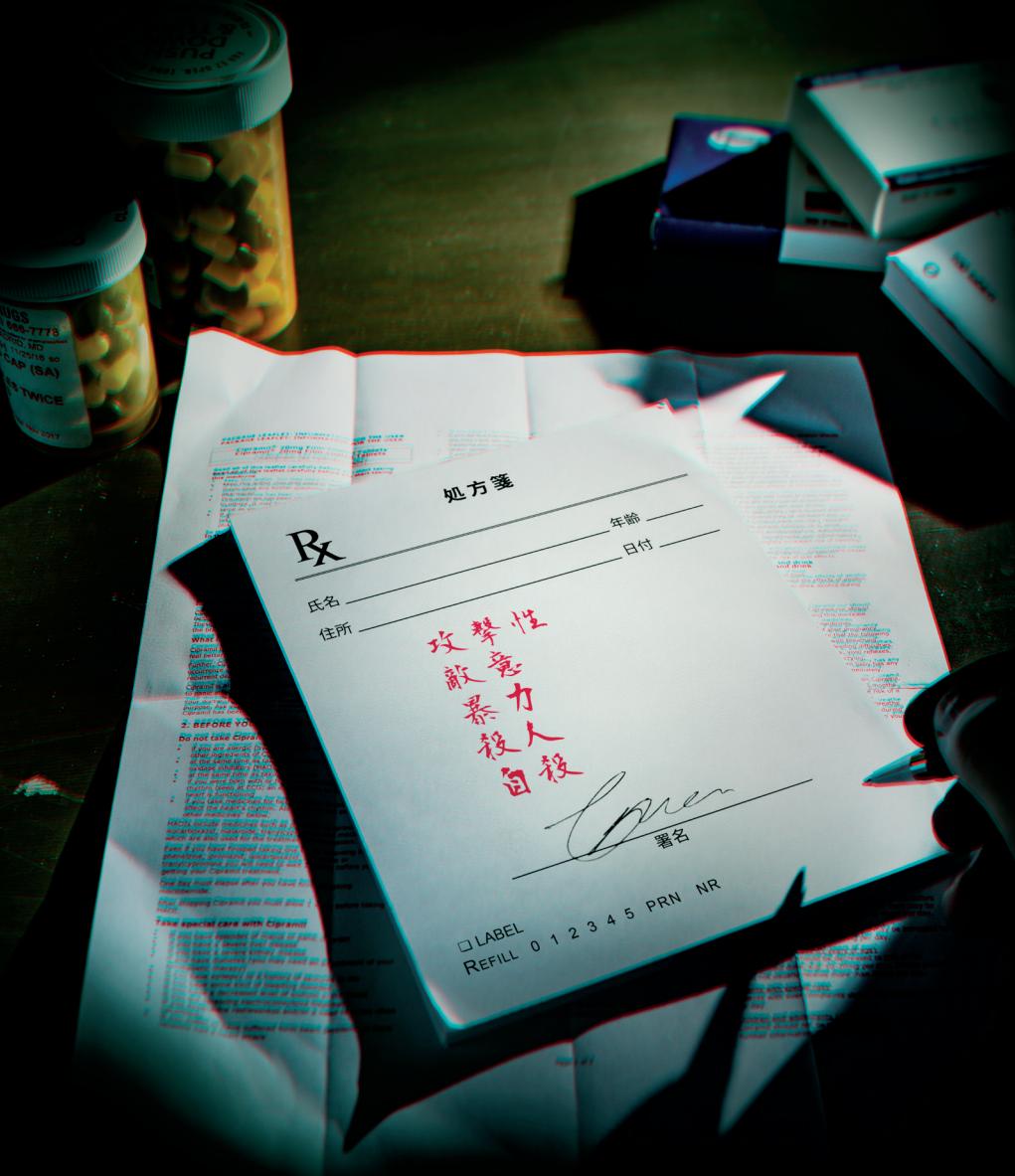
完全な直線
はどうでしょう。

精神科医は薬物問題を抱えています。現在、彼らは完全に向精神薬に依存しており、全外来診療の86パーセントにプロザック、セロクエル、ザナックスなどの錠剤を処方しています。これらの薬物は広く、頻繁に与えられていますが、安全とは程遠いものです。

精神薬の使用と暴力の相関関係を否定することはできません。精神薬の処方率が上昇し続ける一方で、学校での銃乱射事件は今や登校日ごとに発生し、大量銃撃事件は平均して1日2回発生し、そして45秒に1人が自ら命を絶っています。■

484
薬物

市場にある484の薬物に対する最近の調査で、31の薬物が暴力とひどく関係していることがわかりました。それらのうち24が精神薬でした。



最も恐ろしい凶器を
知りたいですか？

山積みの処方箋用紙
を持った精神科医。

精神薬の添付文書を見ると、ぞつとするような副作用の長いリストを目にします。これら添付文書の多くに、顕著に掲載されているのは攻撃性と敵意です。精神薬によって引き起こされる自殺的、暴力的な思考や行動を、誰が経験するのか、あるいは経験しないのかは誰にもわかりません。

一般的な副作用の1つは、「離人症」です。この分裂と分離の感覚は、極めて突然で暴力的な行為への扉を開き得ます。これらの薬物を取っていたある殺人者は、彼の殺人的な思考過程をこう表現しています。「それは『したい』ではなく…『その必要がある』。やるしかなかった。」

もはや、犯罪者や精神障害者だけが手当たり次第に他の人々を殺しているのではありません。今では、精神薬下にいる夫、母親、友人、そして全く見知らぬ人たちが殺人を犯しています。それは、しばしば、決してそんなことをするとは考えられないような人々なのです。



世界中で2億8千万人以上が精神薬を処方されています—暴力や自殺行為を副作用として示す100の国際規制当局からの警告にもかかわらず。

だからと言って、精神科医たちが何度も何度も処方箋用紙に手を伸ばすのを止めることはできません。■

140
万

9年間に、精神薬は推定140万のケースに暴力的な反応を引き起こしました。
それは3分ごとに薬物によって誘発された暴力行為が起こることに相当します。

それほど小さなものが それほど暴力を 引き起こすとは 信じ難いことです。

悲劇的にも、精神薬に誘発された人々は、グループ全体を標的にすることが知られています。バルセロナ発デュッセルドルフ行きジャーマンウイングスのパイロットは精神薬のカクテルを服用しており、意図的に飛行機をアルプスに墜落させ、150人の乗客と乗組員全員を殺害しました。その間、薬物の影響下にあったパイロットの呼吸は、衝撃の瞬間までずっと均一でした。

向精神薬の影響下にある一部の人々は、ショッピングモール、教会、映画館、コンサート会場、大学のキャンパスなどの公共の場で大虐殺を引き起こしています。憂慮すべきことに、大量殺人のペースは加速しています。近代史で最も死者数の多い20の銃乱射事件のうち、16件が過去20年の間に起こりました。

2020年だけで、そのような殺人事件の数は46パーセント増加しました。そして、2023年の米国では、1日に平均2件の大量銃撃事件が発生しました。■



学童たちにとって、以前は
「考える帽子をかぶりなさい
(よく考えなさい)。」

今では、
「防弾チョッキを着なさい。」

学校へ行くことは、教育を受けることについてであるべきです。
しかしあまりにも頻繁に、私たちの学習の場は、私たちの最も幼い、
最も弱い人たちの大量殺戮の場になっています。

コロンバイン高校、ステム・スクール・ハイランズ・ランチなどの
場所でそれを目にします。そのすべてが、精神薬の影響下にある
人々によって、殺戮場に変わったのです。

何十億ドルもが学校警備に費やされているにもかかわらず、私たちの施設は安全な場所ではありません。そして皮肉なことに、これらの薬物依存の殺人者が暴力的で破壊的な行為を犯した後、納税者の何百万ものお金が生徒の「メンタルヘルス」プログラムに浪費されています。■



最後の瞬間、 彼女の頭を よぎったものは？

2千万人以上の子供や若者が、攻撃性、殺人、そして自殺といった深刻な副作用を引き起こすことで知られている精神薬を処方されています。実際、米国食品医薬品局は、自殺に対する消費者の注意を強く促す黒枠付きの警告を抗うつ薬に課してきました。

すべての抗うつ薬パッケージには黒枠付きの警告表示が含まれていますが、何人の精神科医が自分の患者に警告しているのでしょうか？あるいは親に警告しているのは？そして、何人の患者や親が実際にその詳細を読むのでしょうか？

精神薬の使用と自殺との歴史的な相関関係は明らかです。1999年から2018年の間に、精神薬の処方が50パーセント近くも急上昇し、自殺率は3倍に舞い上がりました。にもかかわらず、精神科医たちは自殺を防ぐためにこれらの薬を処方し—そして次に起きることを患者の「精神障害」のせいにするのです。

数字は嘘をつきません。精神医学の手に自分を委ねて
しまうことは非常に危険なことです。精神科の治療を
受けていない人と比較すると：

- ・精神科医の外来治療を受けている人は、自殺する
可能性が8倍高くなります。
- ・もし精神科の緊急治療室を訪れるとき、その割合は
28倍近くに上ります。
- ・そしてもし精神病院に入院させられたなら、
44倍に急上昇します。

毎年、世界中で自ら命を絶つ人の数は、アーリントン国立墓地
に埋められている人の数のほぼ2倍です。

しかし精神科医たち—メンタルヘルスの「専門家」と自ら公言し
ていながら—は、自殺率を下げ損なっているだけでなく、これまで
以上に多くの犠牲者を生み出しています。■





アカシジアは
「運動障害」
と呼ばれています。
残念ながら、それは
別の障害に
つながり得ます。
死。

向精神薬を服用している人が、自分自身や他の人に對して暴力を犯す理由はたくさんあります。多くの場合、主な要因の1つは、「アカシジア」として知られる副作用です。

アカシジアは強烈な内側の落ち着きのなさのために、座ること、あるいはじっと座っていることを困難にする運動障害です。それは内部の激痛であり、最悪の場合、人生を苦痛に満ちたものにしています。ある製薬会社の役員はこう述べています。「死は歓迎される結果。」精神科医たちは、彼らの薬物がアカシジアを引き起こす可能性があることを知っています。しかし彼らは、副作用としてこれが起こるかもしれないと、患者に警告することはめったにありません。■

抗うつ薬を服用している4人に1人は、
アカシジアの生き地獄を経験するでしょう。
抗精神病薬を服用している人々は、
その割合が75%増加し得ます。

75%



禁断症状は 震えやゾクゾクする感じ で始まりますが、それは 暴力や殺人 につながることもあります。

私たちは、精神薬は人々がそれらを取っている時に激しい衝動を引き起こすことがあると知っています。しかし、彼らが、禁断症状の痛ましい状態に入った時、何が起こるのでしょうか？

向精神薬からの離脱が深刻な精神症状につながる可能性があることを、一般の人々はほとんど認識していません。実際、離脱期間は、自分自身や他の人々に対する暴力を伴う最も危険なときです。コロラド州のいわゆる「バットマン」銃乱射事件を取り上げてみましょう。彼はゾロフトから離脱期間中に、混雑した映画館で12人を殺害し、70人を負傷させました。

暴力は精神薬からの離脱症状のひとつであることが、度重なる調査研究によって実証されています。しかし精神科医たちは、薬物に依存性があることを否定することで、一般の人々を誤った方向に導いています。それどころか、彼らは「抗うつ薬中断症候群」という架空の症状を引用し、図々しくも、禁断症状は、その人が彼らの薬物で良い徴候を示していたので、それに戻る必要があるというサインにすぎないと主張しています。



しかしそれはすべて大きな嘘にすぎません。精神薬をやめるのは非常に難しいことがあります。

合衆国麻薬取締局は、これらの薬物のひとつの種類(リタリン、アデロール、ビバンセなどの興奮剤)をスケジュールIIのリストに載せています。これは、アヘン、モルヒネ、オキシコンチンなど、乱用や依存性が高い薬物と同じカテゴリーです。

David Levy/Wikimedia Commons (Century 16)

6-8
時間

いくつかの薬物への身体的依存は数日のうちに起こり、離脱症状は6-8時間足らずで始まる可能性があります。

精神薬のもうひとつの種類、抗うつ薬による離脱症状に苦しんでいるのは、服用者5人のうち4人—潜在的には8,500万人です。そして、離脱プロセスの平均期間は約2年—1つの薬物につき。そして最も卑劣な秘密:あなたに精神薬を服用させている精神科医たちは、薬をやめさせる方法をめったに知らないことです。■

Ritalin

Ritalin gently overcomes the fatigue so often associated with it. That's one agent that really brightens mood and improves performance, enthusiasm, and drive. Patients often report that patients and worry seem to vanish; they are able to go all day without becoming tired.

Results in minutes Unlike other antidepressants, Ritalin usually works within the first dose. Your patients need not wait days.

Helps relieve chronic fatigue and apathy quickly

she can be reached at home

NARDIL
IN GENERAL PRACTICE

ANXIETY TENSION & THE LIBRIUM EFFECT

Psychotherapy and Thorazine... a "combined therapy" most effective in the treatment of hyperkinetic emotionally disturbed children

Combativeness reduced

Interpersonal relationships improved

THORAZINE*

25

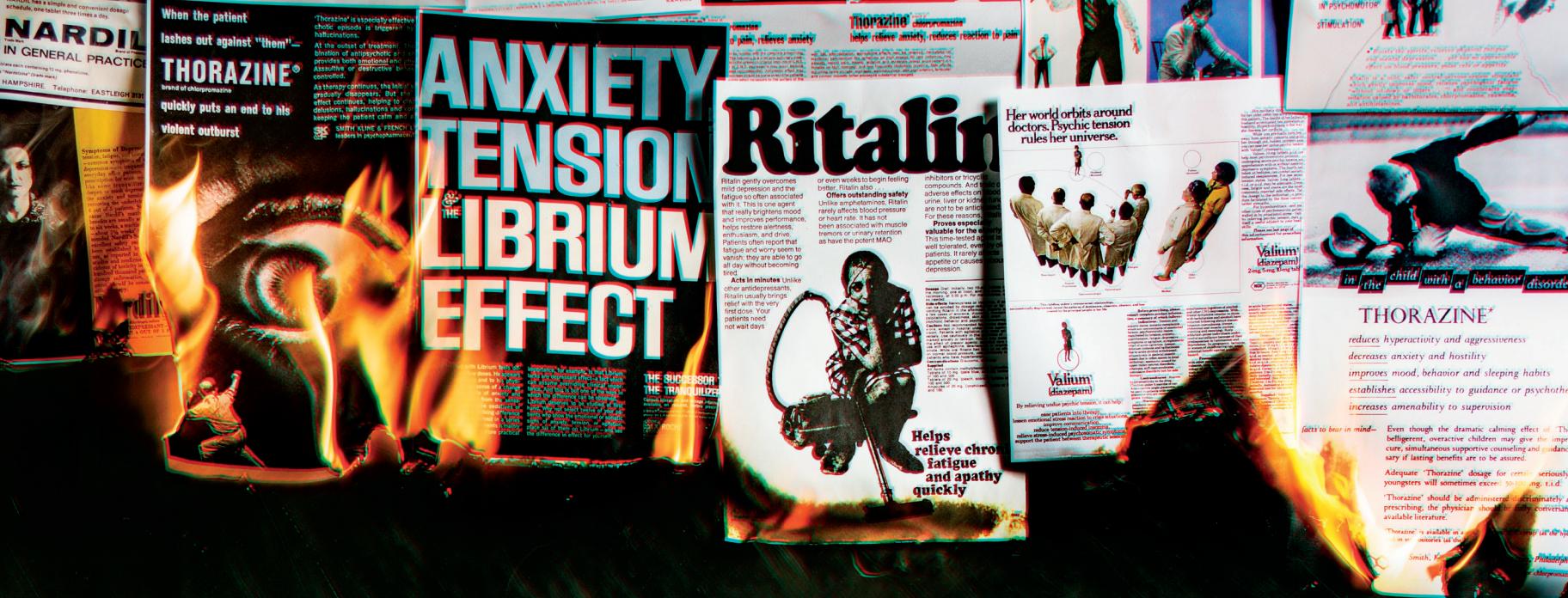
それは「化学物質の不均衡」ではありません。

それはエシックスと経済の不均衡です。

精神薬のテレビCMを見て、憂慮すべき副作用のやつぎばやのリストを理解しようとする。それは不可能です。しかし、精神科医たちはこうした薬物を宣伝するために、偽りの、誤解を招くような主張に頼り続けています。

一つの例は、かつては「化学物質の不均衡理論」と報じられていた、1965年の精神医学の疑似科学の傑作です。精神障害を抱えた人々は、脳内の「化学物質の不均衡」に苦しんでおり、精神薬が正すことができると主張しました。

ほぼ60年後、この「理論」は精神科医と製薬会社によって促進された考案だと露呈しました。精神科医たちは、その詐欺を否定するのではなく、その理論が偽りであることをずっと知っていたと認めました。何年もの間、彼らは患者に危険な精神薬を与え、それを取らせ続けるためにこの偽装を使ってきました。



実は、精神薬が身体にどのように作用するのかを誰も実際に知らないということです。精神薬の添付書類パッケージに、「作用機序」は不明と常に述べられています。さらに悪いことに、精神薬に関する大規模な公表済み、そして未公表の研究が、これらの薬物には効果がないことを発見しています。しかしそれが、精神科医が外来診療5人中4人以上にそれらを処方するのを止めさせることはできません。■

ゼロ
科学

精神医療産業には、精神病の検査
はなし、効果的な治療はなし。そして、
治療された患者は、果たしているの
でしょうか？



精神医療産業を、 貪欲さと汚職 が交わるところで 見つけるでしょう。

精神薬漬けは患者にとって破壊的で、社会にとって破滅的ですが、精神科医と製薬会社にとって大きなビジネスです。彼らは共にこれらの錠剤を開発し、宣伝し、大勢の医師や医療業界に売り込みます。

ある精神科医は抗うつ剤を売り込むスピーチをして、製薬会社から75万ドルを懐に入れました。彼はまた、診療所の医者を訪れ、子供たちにこれらの薬を処方するように勧めました。FDAが25歳未満全員への自殺に対する黒枠付き警告を出した後でさえもです。

信じられないことですが、精神科医たちは、必然的に起こる災害から利益を得る方法を考え出してさえいます。精神薬が関連している複数の悲劇が起こった後、精神的外傷を受けた犠牲者を「治療」する精神科医の利益集団の金庫に大量のお金が流れ込みます。



お金の動きを追え。そうすれば真実が見えてくる。精神薬漬け産業は年間500億ドル近くをかき集めているビジネスです。この横行する薬漬けは、毎年4180億ドルの総収益を上げる世界的な精神医学帝国の潤滑油です。さらに、自ら認めているように、精神科医は自分たちの患者を治療する能力がありません。直面しましょう。精神医学は貪欲さと汚職に依存しています。■

\$4180
億

世界的なメンタルヘルス市場は
毎年4千億ドル以上を
預金しています。

私たち
50年以上最前線
にいます。

私たちと一緒に
立ち上がってください。

今では、致命的な精神薬漬けに対してあなたは、私たち同様、激怒していることでしょう。

精神医療産業は、薬物には効果がないことを知っています。ヴァンダービルト大学の心理学教授は、「抗うつ剤治療を受けている人の少なくとも半数に益はない。もし人々がもっと知れば、薬物治療の道をたどる可能性は少し低くなると思う」と明らかにしました。

にもかかわらず、精神医学の処方率は上昇し続けています。合衆国だけで年間2億5千万以上の処方箋が出されています。米国心理学会の前会長によると、「多くの患者が、さらに薬物を取りることを望みません。あまりにも頻繁に、向精神薬が、提供される唯一の選択肢です。」

米国食品医薬品局によると、「業界は効果的な治療法という点で生産的ではありません。」同感です。でも、確かなことがひとつ



あります。精神科医は、破壊的な暴力を引き起こすことが知られている精神薬を処方することにかけては非常に効果的です。

もう十分です。次のページで、CCHRの使命を結集し、支援し、促進するための6つの簡単なステップをご紹介します。

精神薬漬け に対して 「ノー」と言う 6つの方法。

1. このDVDを注文し、できる限り多くの医療従事者と弁護士に渡してください。友人、家族、活動家グループ、そして政府の政策立案者もこのDVDを受け取るべきです。このドキュメンタリーをデジタルで共有することをお望み場合は、cchr.jp/violenceにアクセスしてください。
2. もしあなたが精神薬による有害な後遺症について何かを知った場合は、確実にあなたの国 の規制機関に報告されるようにしてください。またcchr.jpにアクセスして、CCHRへ機密扱いの報告を行うこともできます。
3. メンタルヘルスの法律改革の必要性を国会議員や選出議員に知させてください。精神病であるとされた人、および精神保健の治療の対象となるすべての人に対する、完全なインフォームド・コンセントが義務付けられるべきです。

4. 精神科医と精神保健の専門家を管理する規制機関や組織は、深刻な怠慢、医療過誤、虐待に関して調査をし、精神保健従事者の資格を取り消すことができます。医療従事者の実践の規律違反を暴くために、これらに関する苦情を申し立ててください。
5. 精神科医は、有害な精神薬を患者に処方するだけに留まりません。性的暴行、財務上の不正行為、医療過誤、詐欺、あるいはどのような犯罪であっても、それを犯した精神科医、または心理学者を知っていたら、警察に通報するか、cchr.jpでCCHRに報告してください。
6. 忘れないでください。精神医学による主張を検証できる医療検査(レントゲン写真、脳スキャン、血液検査など)は存在しません。しかし正当な医師には、「精神障害」と主張されている未治療の身体的な病気を発見することができる多くの科学的なテストがあります。あなたや知人が精神的な問題に悩まされている時には、必ず精神医療以外の医療機関による徹底した検査を受けるようにしてください。

あなたには黙秘しない権利があります。

彼らは人権のために彼らの声を上げたのです。彼らは精神保健の虐待に対する声を上げたのです。市民の人権擁護の会(CCHR)は、50年にわたって精神医学による人権侵害を暴き、闘い、勝利してきました。

CCHRは、1969年、精神医学による人権侵害を調査・摘発するために、Scientology教会とシラキュース大学健康科学センターの精神医学名誉教授トマス・サズ博士によって設立されました。

CCHRの意見は、6つの大陸に広がる支部で聞かれています。その顧問委員会は強力な存在です。医師、弁護士、教育者、芸術家、実業家、公民権・人権活動家などを含みます。

声を上げることは結果を生みます。CCHRは法制審議会で証言し、精神医学における虐待に関する公聴会を開き、世界中でメディアや警察当局、行政官らと協力して、何百もの改革に関わり、それを鼓舞してきました。

CCHRは黙ったままではいません。そしてあなたもそうるべきではありません。



精神医学の嘘の背後にある 残酷な真実...



テリー・アワード受賞
アコレード・アワード受賞
インディー映画祭アワード受賞
エルメス賞受賞

2年がかりで制作されたこの衝撃的な映像は、精神医学によって私たちの社会にもたらされた損害を暴露したものです。

記録フィルムと最近のフィルムから取られた生々しい映像には、精神科医たちの実際の活動が収められています。さまざまな医療の専門家へのインタビュー、そして被害者とその家族による実際の証言によって、これまで知られていなかった数々の事実が明るみに出されます。これは、精神医学による数々の悪行を余すところなく収めた、過去に例を見ない衝撃の記録です。

あなたには、精神医学やその実践者について、そして彼らが子供たちに及ぼしている脅威について、その動かしようのない厳しい事実を知る権利があります。

460ボルトの電流があなたの脳を直撃したら どのように感じるのでしょうか？



AVA デジタル・アワード受賞
プラチナ賞

この画期的なドキュメンタリーは、年間およそ10万人のアメリカ人を犠牲にしている、電気ショック療法、ECTの拷問と残酷性を暴露します。

ほとんどの人がこの残酷な精神医学治療はずっと前に廃れたと信じていますが、精神科医は、現在でも、世界中で毎年100万人にショックを与えています。単に壁のコンセントを使って、精神科医たちは460ボルトの電流を脳に照射し、意図的に最大30分間持続する大発作を引き起こします。時には脳波の一時的平坦さえも起こします。

結果：脳の損傷。記憶喪失。死。

精神医学 死を生み出している産業

インターネットでの申し込み:cchr.jp



治療 それとも 拷問 電気ショックについての真実

電話: 1 (800) 869-2247 • 合衆国国外: +1 (323) 467-4242

信じがたい、しかし無視すれば
命にかかる事実…



テリー・アワード受賞
アコレード・アワード受賞
コミュニケーション・アワード受賞
イージス・アワード受賞

向精神薬漬け…
それは巨大なビジネスです。



オーロラ・アワード受賞
テリー・アワード受賞

向精神薬。それは、3300億ドルもの巨額のカネを生み出しながら、何の治癒
ももたらさない薬物です。

人道的な意味での被害はさらに甚大です。これらの薬物を摂取していた人々
のうち、毎年およそ4万2千人が死亡しており、その数は増加する一方です。

この衝撃的なドキュメンタリーには、弁護士、精神保健の専門家、被害者の
家族、そして被害者自身への175以上のインタビューが収録されています。
偽りに覆い隠された向精神薬の過剰投与の実態を暴き、社会に深く根付いた
この残虐なビジネスの真相を明るみに出します。

これは、500億ドルを作り出している向精神薬産業である精神医学と
製薬会社の、高収入パートナーシップについての物語です。

しかし、その仕組みは巧みな見せかけによって装われています。

精神科医が下す診断は正当なものなのでしょうか？彼らが処方する薬品は
本当に安全なのでしょうか？

この3部構成のドキュメンタリーは、企業の隠された内情を掘り下げ、巧妙な
マーケティング戦略の仕組みを明らかにします。さらに、その販売戦略を
隠ぺいしている、科学を装った偽りの手口を暴き出します。その戦略は、
しばしば人命にまで関わる危険な事態を招いているのです。

巨利をむさぼる
向精神薬による治療の真相



インターネットでの申し込み:cchr.jp

心の病を
売り込む

私たちみな精神病なのか？

電話: 1 (800) 869-2247 • 合衆国国外: +1 (323) 467-4242

ひとりの子供の物語が、
2000万人以上の子供を物語る…



精神薬が子供たちや家族に、どれほど破壊的で致命的であり得るかを暴く
ドキュメンタリーです。

死亡率の残酷な統計値、自殺、先天性欠損、深刻な副作用の背後にある、
この上ない代価を払った人々の喪失と勇気あるパーソナル・ストーリー。

精神科医が勧める薬は、子供にとって本当に安全なのか?

8人の勇敢な母親たち、彼らの家族、健康専門家、薬剤カウンセラー、そして
医師たちの声を聞けば、この言葉がしっかりとあなたの中に刻まれるでしょう。
精神科医は「致命的な誤り」を犯している。



的確な診断か…
それとも科学と偽った詐欺なのか。



現在、DSMは人の心の状態を「診断」する根拠となっています。

しかし、科学的な裏付けは本当にあるのでしょうか?

当の精神科医に問いただせば「そんなものはない」と認めることでしょう。
しかし DSM の60年の歴史を通じて、彼らは一貫してそれが科学であると
一般市民に信じ込ませてきました。

では、DSMは正当な医学文献なのでしょうか、それとも巧妙に仕立て上げられた疑似科学なのでしょうか? このDVDをご覧になり、ご自身で確かめて
ください。

DIAGNOSTIC &
STATISTICAL
MANUAL
診断・統計マニュアル
精神医学による悪徳商法

精神医学では、歴史が絶え間なく
繰り返される…



テリー・アワード受賞
アコレード・アワード受賞
オーロラ・アワード受賞
コミュニケーションズ・アワード受賞
マーコム・アワード受賞
AVAアワード受賞
DVアワード受賞
エルメス・アワード受賞

最も危険な敵は、あなたが
疑いもしなかった人物です…



AVAアワード受賞
テリー・アワード受賞
コミュニケーションズ・アワード受賞
アコレード・アワード受賞

私たちはまさに近代社会の中で暮らしています。一見、最低限の生活を確保でき、安全で、幸せそうに見えます。

しかし、その表向きが人生のすべてを語っているわけではありません。

至るところに、精神医学の残虐な歴史を目にするでしょう。しかし精神医学の発祥地以上に、これらをはっきりと見ることができる場所はありません…
ドイツです。

これは、ほとんど明かされたことがない、不当な要求、損傷を与える治療法、そして人間の残酷性の極限についての物語です。



インターネットでの申し込み:cchr.jp

私たちの軍隊…彼らは有事の際に私たちを保護し、守り、助けてくれます。しかし日々、彼らは隠れた敵に攻撃されています。それはありふれた光景の中で隠れています。

今日、精神医学と精神薬が蔓延する世界のあらゆる軍隊において、毎日23人の兵士や退役軍人が自殺しています。

80人以上の兵士や専門家のインタビューを取り上げたこの詳細なドキュメンタリーでは、見せかけを打ち碎いて世界中の軍隊を内部からむしばむ真の敵を暴きます。

隠れた敵
軍事に介入する精神医学

電話: 1 (800) 869-2247 • 合衆国国外: +1 (323) 467-4242

警告：

**資格のある医療従事者の監督なしに、
精神薬からの離脱を試みないようにしてください。**



市民の人権擁護の会

お問い合わせ、また
CCHR ドキュメンタリーの注文は下記まで:

CCHR International
6616 Sunset Blvd.
Los Angeles, California 90028

1(800) 869-2247
合衆国国外: +1(323) 467-4242
cchr.jp • contact@cchr.org

